

# 踏み跡 <My Mountains>

箱根

外輪山縦走(東側)

No.262

平成4年に箱根旧東海道を歩いたついでにいくつかの山を歩いてみたことから、箱根の山にも関心が湧いてきた。複式火山で、しかもどこからでも富士山が見えるので興味深い山ではあるが「有名な観光地だからゴチャゴチャしていいやだな」と思って敬遠してきた。富士を眺めることも考えたら、人が少ない秋から冬の間が望ましいだろうと思い、遂に決行となった。外輪山を、東側コースと西側コースの二回に分けて縦走するプランを作って大久保君を誘った。



平成7年11月18日

4時半に起床して5時15分に出発。久しぶりに電車の旅だが、千葉方面から東京以西の山へ出かけるのにはかなりの早起きが必要なのが苦痛の種。

新宿駅に6時45分に到着。7時15分発あさぎり1号で御殿場へ。快晴で藤野眺めは最高。

御殿場8時56分着。バスは待ち時間なしですぐに発車。

乙女峠口9時30分、ここは概ね海拔800m。色々なものが見えるはずなのに、富士山以外は何も頭に入ってこないような眺め。この眺めを堪能したくてきたのだから満足。

トンネルに入ってしまうバス道から左へ離れて峠への道に入る。外輪山の外側の斜面を舐めるように登っていくので景色を楽しむ山道としては最高。

まずは海拔1005mの乙女峠。何とも表現のしようがない鮮やかな富士にただため息をつくばかり。折角なのでひとつでも多くのピークを踏んで帰ろうと欲張り、今回の縦走計画とは逆方向の丸山(1156m)を往復。

11時40分乙女峠に戻って縦走開始。(右写真：乙女峠から朝の富士)

北西にルートを取り外輪山の頂点を歩き、13時40分北端の金時山(1212.5m)に到着。仙石原あたりから気軽に登って来られるせいか、色々な客層が入り混じる山頂。まるで銀座のようなにぎわい。昼食をとり景色を楽しみながらしばしの休憩。14時20分出発。



稜線は南東に向かって走るようになり、しかも少しずつ高度を下げて行くので気楽な歩きになってくる。

明神ヶ岳(1169.1m)、夕暮れが近づいてきた。残りの縦走路を明日に残して、赤くなりかかった西の空を眺めながら、時計を気にしつつ宮城野への道に入った。途中で暗くなり始め、別荘地の中を歩く頃には街灯もないため漆黒の闇になってしまった。

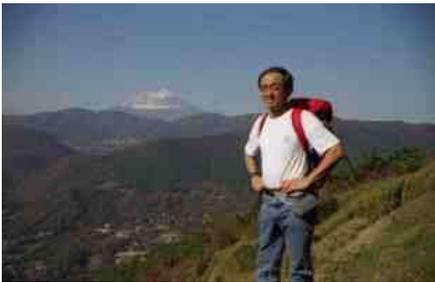
宮城野17時45分。11月の箱根は寒い。これから海拔400mの早川沿いまで下って、さらに150mほど登り返して強羅まで歩く気もしないし、歩いたとしても今宵の宿への到着が遅れてしまうのでタクシーを呼ぶことにした。(タクシー代¥1,240)

強羅駅から15分ほど歩いて会社の保養所(三花月荘)に入り、初日の行程は無事終了。温泉に浸かって初日の疲れを癒した。

## 踏み跡 <My Mountains>

平成7年11月19日

7時半起床、快晴。朝食後9時に出発。強羅駅は542m、高度差約150mを下って宮城野へ。この下り道は早川の向こう岸に外輪山の東側が走り、箱根の山の地形がよくわかるのが面白い。



宮城野9時半。早川の東岸の段丘のような地形のところに明星ヶ岳登山口がある、9時48分。ここから再び外輪山へ。

明星ヶ岳(923.9m)11時。ぐるっと回って縦走してきた尾根ももう海拔1000mを切ってしまい、あとはどんどん下って行くばかり。大文字焼きの文字型の場所を見学しながら10分ほどの休憩。

(左写真：明星ヶ岳 大文字にて)

12時20分、お昼を過ぎたので送電線鉄塔下で昼食と大休止。ゆっくり休養して13時15分に出発。

塔ノ峰(565.4m)、縦走路最後のピークになる。歩いてきた稜線と外輪山の向こう側とを眺めると、「なるほどこれが箱根の山か」と頷くことができる。

阿弥陀寺、塔の沢を経て箱根湯本駅に15時30分到着。土産を買って16時25分発の電車に乗り新宿駅に18時半に帰着。小田急線は安くて速くて良い。でもここから自宅までが遠い、自宅着は20時。

箱根の山も悪くないなという印象で、忘れないうちに残りの西側の縦走を試みようということになった。

以上



外輪山東側から中央火口丘を望む(神山・駒ヶ岳など)